

令和6年度:特別養護老人ホーム瑞寿苑事業報告書

1. 利用者処遇の充実

ユニットケアの基本理念である「その人らしさ」と「暮らしの継続」を念頭に、ユニットケア推進委員会を立ち上げ、委員を中心にユニットケアの3つの要素であるハード(環境)、ソフト(暮らしのサポート)、システム(施設運営の中での仕組みづくり)について学んだり、ユニットリーダー研修実地研修施設への施設見学を行い、新たな理解を深めることで入居者へのケアの質への向上に繋げることができた。また新型コロナウイルスの感染予防を徹底して、いくつか外出行事を実施することができた。また地域のボランティアの受け入れにおいても少人数での参加を促し、以前のように受け入れを再開することができた。看取りケアにおいては、最期までその人らしさを大切に、身体的・精神的苦痛をできるだけ緩和し、人としての尊厳に十分に配慮しながら寄り添ったケアに努めた。

2. 地域交流

新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、地域における社会貢献活動の一環として、近隣の小学4年生を対象として地域の福祉施設をテーマに講師派遣を行い、地域福祉の向上に努めた。また地域における福祉拠点の一つとして、介護福祉士や介護職員初任者研修の資格取得のための実習生の受け入れにおいても、その都度新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、少人数での受け入れを行った。その他に地域の方々へ車椅子や屋外用段差解消スロープの介護備品の貸し出しを行った。

3. 職員の質の向上

新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、積極的に外部研修への参加の機会を設けた。また専門的な知識や技術の処遇向上を図るため、外部講師を招いて少人数での勉強会の機会を毎月定期的に作り、接遇マナーや事故防止(リスクマネジメント)、身体拘束廃止・虐待防止など、多様化するニーズに的確に対応できるよう人材育成に努めた。その他に職員の職場定着を目指し、職員一人一人の意見や想いが反映されるよう、定期的に職員面談を実施した。

4. 安全な生活環境の提供

入居者の安全確保において、全職員が迅速に対応できるよう、防災訓練に加え、事業継続計画(BCP)地震・災害編を含めた編緊急連絡網運用訓練や非常食提供訓練、初動時の震災訓練を実施した。また新型コロナウイルス対応における感染症リスクの特徴を踏まえ、感染発生段階ごとの対応方針や施設内での感染対策(ゾーニング)について、事業継続計画(BCP)感染症編の説明会や感染対策(ゾーニング)を含むシミュレーション訓練の実施、マニュアルの見直しを行った。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:和 ～なごみ～)

1. 入居者処遇について

入居者がその方らしい生活が送れるよう、多職種と連携し支援に努められた。反省点としては職員個々のケアの統一においてあまり足並みが揃わなかったところがあったため、その都度話し合いを設け、情報共有をしていきたい。また日頃から気を付けてはいたつもりではあったが、ユニット職員が4人同時に新型コロナウイルスに感染し、他ユニットの職員に多大な迷惑をかけてしまった。今後はこういった事が起きないよう、出勤前の検査や体調不良時において出勤前に病院受診をするなど、感染症を施設内に持ち込まないようにしていきたい。

2. ユニットの環境について

生花は切らすことなく季節に応じた花木を彩った。清掃に関しても毎日換気を怠らず床に落ちている糸くずなど、細かいゴミも拾う事を率先し職員もそれに答えてくれたことがよかった。自然な暮らしの場になるよう尽力し、入居者へ質問したことがあるが、「いいよ、何でも。」との言葉であったため、今一度相手の立ち位置に立った視点を見つめ直さなければいけない。

3. その他

前に述べたが、まず職員の体調管理を万全にしていかなければいけないと感じた。感染対応にて長期隔離を余儀なくされ、それが原因でADLの低下を招いてしまった入居者もいたため、今後も継続的に感染予防に努めたいと思う。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:笑 ～えみ～)

1. 入居者処遇について

自分らしく生活出来る様、常に入居者や多職種間で情報共有、意思疎通を行いながら入居者に合わせたケアを心掛けて対応してきた。反省点として、職員各自が24時間シート作成に携わっていない現状があるため、次年度は担当職員に振り分け、ユニット職員全員が各担当の24時間シート作成ができる事を目標にしていく。

2. ユニットの環境について

季節を感じられるように設えを工夫し対応してきた。特に生花をなるべく飾るようにして、皆様に喜んでいただけた。またコロナウイルス感染対策を行い、今年度はコロナウイルスやインフルエンザなどに感染することなく過ごす事ができた。

3. その他

毎月2回の行事を行い、皆様に充実した生活が提供できるよう活動してきたが、職員が退職により不足してしまっからは活動することがなかなかできず、入居者へも負担を掛けてしまった。次年度は本年度できなくなってしまった行事を増やすこと、施設の事業計画にもあるユニットリーダー研修実地研修施設となれるようにユニット職員と協力していく。

令和6年度 事業報告書（ユニット名：幸 ～さち～）

1. 入居者処遇について

日々の聞き取りやコミュニケーションから把握したニーズを 24 時間シートにて活用し、情報の共有を行い、入居者のニーズの早期実現へ向け対応した。ユニット配膳も馴染んできて、入居者との会話も増え、より馴染みの関係を築くことに繋がっていると実感した。食事を食べる喜びだけでなく、自分で作る楽しさも感じて頂けるよう、定期的なユニット調理では、包丁で材料をカットして頂くなど、入居者が今まで培ってきた経験を活かせるような取り組みも行った。情報共有やケアの統一に関しては、今後も課題として取り組み、引き続き職員が行う一つ一つの動作に対し、しっかりとした根拠が説明できるよう努めていく。

2. ユニットの環境について

季節に合わせた設えを行い、ユニットにいても季節を感じられるよう対応した。植物もリビングに観葉植物を置くだけでなく、各居室前にも観葉植物を配置し、日々成長していく植物を見ながら、季節の移ろいを感じて頂けるよう工夫し、自分で水やりを行えるよう対応した。次年度は観葉植物だけでなく、季節の花を入居者と共に育てていけるよう対応していく。また環境整備にも気を配り、毎日居室内のモップ掛けや食後にはリビングの清掃、定期的な居室内の整理等を行い、清潔な空間で穏やかに過ごして頂けるよう努めた。

3. その他

毎月 1～3 回ほど外出、ユニット調理、テイクアウト等のイベントを入居者と共に考え、「そろそろ寒くなってきたから、おでんが食べたいね。」や「そろそろ花見に行きたいね。」と季節に合わせたイベントの希望も積極的に職員へ話して頂けるため、時期に合わせたニーズを取り入れ、イベントを企画及び実行することができた。

今後も感染症対策はしっかりと講じた上で買い物や道の駅などへの屋外での外食といった行事の企画に努めていく。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:愛 ～めぐみ～)

1. 入居者処遇について

感染防止対策を徹底し、入居者との日々の会話やインターネット、YouTube を利用してアセスメントを行い、行ってみたいところに外出をすることができた。次年度においては遠出の日帰り旅行なども計画していきたい。しかし誕生会においては、実施できなかった時もあったため、入居者の誕生日がわかるような一覧表の作成や各担当職員と計画をして必ず実施できるようにしていく。

2. ユニットの環境について

ユニットケアにおける取り組みにおいて、少しずつ家庭的な落ち着ける雰囲気や季節感等を感じられるようリビングの設えをユニット職員や各課の助言も頂き進めることができた。次年度はよりユニット化に向け、他の施設見学をしてきた際に良いところを取り入れ、愛ユニットのカラーが出るように入居者や職員の意見も取り入れて進めていく。

3. その他

行事に関しては、入居者の意見を聞き取り入れ実施していく。そのためには、日頃から何気ないコミュニケーションを大切にし、選択肢からその方の表情等も観察できるよう、時間重視の業務の進め方にならないよう、職員同士で注意をし合える環境を目指していく。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:希 ～のぞみ～)

1. 入居者処遇について

入居者に対しての日頃からのコミュニケーションを始め、アセスメントシートを使用した聞き取りを行う事で以前よりも一人ひとりに対してのニーズを理解する事は出来たが、言葉を発し自身で訴えがある入居者とそうでない入居者との関わりの違いも生まれてきてしまっており、実際に 24 時間シートに反映し、活用出来ているかと言われれば不十分であった。今後の課題として、一人ひとりにあったケアを提供する上で訴えが自分で言えない入居者に対しても出来る限り希望に添うケアが提供できるよう関係を深めていき、統一したケアを目指していく。

2. ユニットの環境について

季節に合わせユニットの設えを変化させることで、ユニットの中においても今の季節を感じられるような工夫をした。観葉植物や季節に応じた生花を飾ることで入居者にも季節をさらに感じていただくことができた。次年度は季節の生花を増やすだけでなく、季節の野菜を入居者と育て、観葉植物や生花と一緒に水やりをする事で生活の一部となるような環境づくりを整えていく。また環境整備においても毎日のユニット内のモップ掛けやテーブル等の消毒を定期的に行っていく。また車椅子の清掃においては、汚れていることがしばしば見られていたため、計画的に清掃をして気持ち良く生活をしていただけるように努める。

3. その他

ユニット調理に入居者へ参加して頂き、入居者と職員との関係を築くことや何を食べたいか等、一緒に食べたい物を考え、食べる事で喜びを感じてもらう事が出来た。また喫茶クラブへ参加される事で他ユニットの入居者との交流も増えた。次年度では感染症対策は継続して、買い物に行く、公園へ季節の花を観に行くといった外出を増やしていき、入居者に楽しんでもいただけるイベントを企画していく。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:優 ～ゆう～)

1. 入居者処遇について

出来る限り入居者のニーズに沿った対応を心掛けて日々の支援に努めることが出来たと思いましたが、状況によっては職員都合による対応もあったと感じた。引き続き定期的なアセスメントを行いながらニーズを充たせる支援が行えるよう努めていく。また、昨年は2名の入居者を看取らせて頂き、いずれも安心して最期を迎えていただくことが出来るよう、多職種と連携しながら必要な支援を提供することができた。

2. ユニットの環境について

季節ごとの飾りつけをはじめ、テーブルの移動および配置を変更することで少しずつではあるが、ユニットの環境に良い変化をもたらしていると思う。リビングの設えにおいてもユニット職員と理解を深めながら、全員で改善に努められた。

3. その他

年間行事以外で、ユニット調理の頻度を増やすなど、入居者に楽しんでいただきながら思い出を残すことが出来るよう、ユニット職員一丸となって行事の企画、実施をすることができた。今後はより本格的な料理や本物志向の行事等を検討して提供していきたい。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:寿 ～ことぶき～)

1. 入居者処遇について

看取りをさせていただいた入居者に終の棲家と思っていただいたのだろうか？その人に合ったケアを提供させていただけたと思いますが、次に繋げるための職員間での話し合いが抜けてしまったのが反省点であった。またユニット調理やテイクアウト、目の前配膳などで入居者の要望を汲み取りながら支援することができた。そして、入居者へのアセスメントを取ることで小さな要望なども知る事ができ、ユニット職員に情報共有する事ができた。

2. ユニットの環境について

食べこぼしのある方が数人いますが、こまめな清掃と消毒を実施し、清潔感は保てた。設えについてはユニット職員による手作りでユニットの個性を生かした落ち着いた雰囲気を出す事ができた。ユニット内の掲示物においても入居者が読んでくださり、イベントなどは指折り数えて楽しみにされていた。

3. その他

感染症対策として、外出や面会、外食など制限があった。入居者の立場になり閉鎖的な環境の時、何を求めているか、何を提供すればいいのかを考えながら様々な方面からのアプローチが足りなかった。今後はユニット職員全員で考えながら支援していく事が課題であり、次年度においては職員間で連携を図り、入居者処遇の向上に努めていく。

令和6年度 事業報告書(ユニット名:福 ～ふく～)

1. 入居者処遇について

食事の配膳方法を見直し、ユニット全体としては概ね入居者と一緒に配膳出来るように工夫をする事ができた。しかしながら、職員によってはできていない職員もいたので、できていない職員にやり方を伝え、見直し図りながら統一したケアを行えるようにしていく。また、排泄ケアに関しては、入居者のプライバシーに配慮した方法を職員全員で出来るように実施する事としたが、実際にやってみると、できている職員とできていない職員でバラツキがあり、自分は出来ていると思っても、他の職員からしたらできていないと言う事がみられたので、次年度ではお互い確認をしながら改善に努めていく。

2. ユニットの環境について

前年度の課題として挙げた入居者の居室内の清掃が行き届いていないという点を改善できるように業務の内容や進め方を工夫してきた。前年度に比べたら綺麗になってきたと思うが、まだまだ足りない部分が見受けられたので次年度はより入居者の居室が綺麗になるように環境整備に努める。また、室温調整に関して問題があると他部署からも指摘があったため、より快適に居室内で入居者が過ごせるように改善していく。

3. その他

ユニットでの行事として、あまり目新しい事ができなかったため、次年度ではより入居者に楽しんで頂けるように新たな行事も取り入れていく。また、感染症に注意しながら入居者のご家族と外出ができるように支援に努めていく。

利用者（入居・退居）状況				
事業所：特別養護老人ホーム 瑞寿苑				
定 員： 80 名				
期 間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日				
前月末： 80 名				
	退 居	新規入居	末日人数	備 考
4 月	1 名	0 名	7 9 名	※施設内にて逝去 1 名（看取り）
5 月	0 名	1 名	8 0 名	
6 月	3 名	1 名	7 8 名	※施設内にて逝去 2 名（看取り 1 名） ※医療機関へ長期入院 1 名
7 月	2 名	2 名	7 8 名	※施設内にて逝去 2 名（看取り 1 名）
8 月	0 名	2 名	8 0 名	
9 月	3 名	0 名	7 7 名	※施設内にて逝去 2 名（看取り 2 名） ※医療機関へ長期入院 1 名
10 月	4 名	2 名	7 5 名	※施設内にて逝去 2 名（看取り 2 名） ※医療 機関へ長期入院 2 名
11 月	1 名	6 名	8 0 名	※施設内にて逝去 1 名（看取り）
12 月	3 名	1 名	7 8 名	※施設内にて逝去 2 名（看取り 2 名） ※医療 機関へ長期入院 1 名
1 月	1 名	3 名	8 0 名	※施設内にて逝去 1 名
2 月	1 名	0 名	7 9 名	※医療機関にて逝去 1 名
3 月	1 名	1 名	7 9 名	※施設内にて逝去 1 名（看取り）
計	2 0 名	1 9 名		
(補足説明) 【要介護度認定一覧】 (令和 7 年 3 月末日 現在) 要介護度 2 - 名 (内訳 男性 - 名、女性 - 名) 要介護度 3 19 名 (内訳 男性 6 名、女性 13 名) 要介護度 4 33 名 (内訳 男性 5 名、女性 28 名) 要介護度 5 27 名 (内訳 男性 9 名、女性 18 名) 計 79 名 (内訳 男性 20 名、女性 59 名) 【 平均介護度 4.1 】				

令和6年度 実習生・ボランティア関係 実績一覧					
	実習生・ボランティア	日時	実施内容	ボランティア 実習生人数	参加者
R6 4月	瑞穂野そば打ちクラブ	17日	そば打ち実演	8名	20名
	就労移行支援グローバルリンク実習	18・19日	特養ユニットにての現場実習	1名	
5月	コットンオハナ	14日	ギター、ウクレレ演奏、コーラス	8名	25名
	SGC 健 ギタークラブ	15日	ギター演奏、歌謡	9名	25名
6月	瑞穂野そば打ちクラブ	19日	そば打ち実演	8名	20名
	ケーナ・尺八演奏	28日	ケーナ、尺八の演奏	2名	25名
7月	ケーナ・尺八演奏	24日	ケーナ、尺八の演奏	2名	25名
8月	瑞穂野そば打ちクラブ	28日	そば打ち実演	8名	20名
9月	コットンオハナ	10日	ギター、ウクレレ演奏、コーラス	8名	25名
	(株)ユーユーワールド	12・13日	初任者研修 施設サービス実習	2名	
	SGC 健 ギタークラブ	18日	ギター演奏、歌謡	9名	25名
	ケーナ・尺八演奏	27日	ケーナ、尺八の演奏	2名	25名

令和6年度 実習生・ボランティア関係 実績一覧					
	実習生・ボランティア	日時	実施内容	ボランティア 実習生人数	参加者
R6 10 月	瑞穂野そば打ちクラブ	23 日	そば打ち実演	6 名	20 名
11 月	(株)ユーユーワールド	1～28 日	初任者研修 施設サービス実習	2 名	
	ケーナ・尺八演奏	21 日	ケーナ、尺八の演奏	2 名	25 名
12 月	瑞穂野そば打ちクラブ	17 日	そば打ち実演	6 名	20 名
	ケーナ・尺八演奏	20 日	ケーナ、尺八の演奏	2 名	25 名
R7 1 月	グローバルリンク	20～28 日	職場体験実習	1 名	
	SGC 健 ギタークラブ	22 日	ギター演奏、歌謡	9 名	25 名
	ケーナ・尺八演奏	30 日	ケーナ、尺八の演奏	2 名	25 名
2 月	自治医科大学 実習生	4 日～6 日	地域保健福祉実習	4 名	
	和みの会	14 日	踊り、舞踊、歌謡曲	10 名	25 名
	瑞穂野そば打ちクラブ	19 日	そば打ち実演	6 名	20 名
3 月	新型コロナウイルスまん延防止のため中止		コロナウイルス感染対応期間： 3/1～3/12、3/20～3/28		
特別養護老人ホーム 瑞寿苑					

地 域 関 係 機 関 協 力 状 況

期 間：令和6年4月1日から令和7年3月31日

事業所：特別養護老人ホーム 瑞寿苑

日 時：令和6年6月18日（火）

対 象：宇都宮市立瑞穂野北小学校 4年生児童 28名

内 容：総合的な学習の時間「心と心をつないで」に関する授業
福祉・介護に関する講和
講師派遣 2名